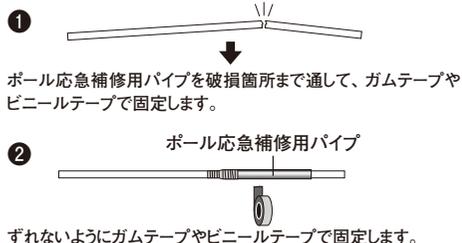


○ 破損時の対応

本テントのポールが万一破損した際は以下の通り
応急処置をしてください。

テント設営時に強風や豪雪などの理由によりポールが折れる場合
があります。副木を添えて応急処置をすることもできますが、本製品
の付属品であるポール応急補修用パイプを用い応急処置も可能
です。

※下山後は修理を依頼してください。また、生地破損については
別途リペアシートをご用意しております。販売店もしくは(株)モンベル
カスタマー・サービスにお問い合わせください。



■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。
使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干して乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置するとカビの発生する可能性があります。また生地も劣化しやすくなります。
- 長期の使用により、フライシートやフロアなどの撥水性能(水を弾く力)が低下した場合は別売のS.R. スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、別売りのスムーズライダー™やローソクの口ウを塗ると回復します。
- ポールやベグは汚れを濡れたタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。

■ 保管方法

- テント本体を長期間使用せずに保管する場合は、なるべくゆるくたたみ、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。付属の収納袋は、携行性を重視しているため、きつめにたたまないで入らないので使用を避けてください。
- 火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形や損傷の原因になります。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

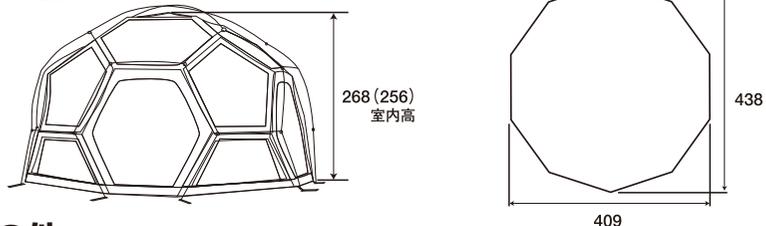
なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ 仕様

- #1122271
ヘリオスドーム 12型



■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

Helios Dome 12

ヘリオスドーム12型

取扱説明書

4角形、5角形、6角形を組み合わせたハニカム構造で、
巨大な居住空間を実現した吊り下げ式超大型テント



この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書(以下「本説明書」といいます)は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■安全上のご注意

テントをご使用になる前に必ずお読みください。

テント使用上の注意

- 本製品内や本製品の近くでは、絶対に火気を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 出入り口やのベンチレーターを常に開け、換気は充分ご注意ください。
- 初めてご使用になる前には、公園などで試し張りをを行い、付属品の不足や不良箇所をチェックしてください。
- テントは必ずペグで固定してください。砂地や雪上では状況に応じたペグ等が別途必要です。
- 設営地はできるだけ平坦地の危険のない場所を選んでください。
- ナイロン、ポリエステルとも太陽光線による紫外線劣化の影響がありますので数ヶ月張ったまま放置しますと著しく寿命が縮まります。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。

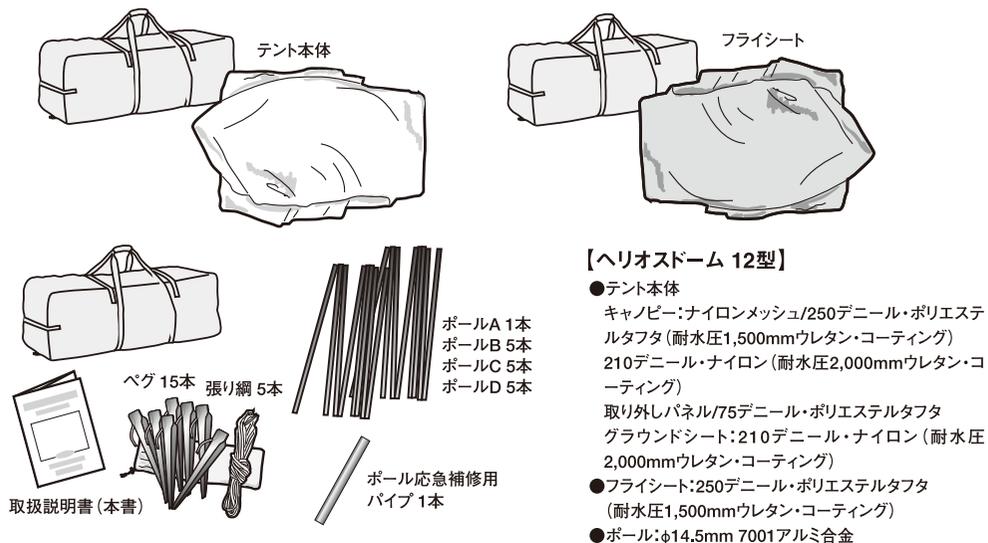
火気取扱いに関する注意

- 安全なキャンプのために以下に従ってください。
- 調理器具等の使用は取扱い説明書どおり、安全にする。
 - 調理器具等に子供を近づけない。
 - 出入口に物を置かない。
 - 設営場の消火設備等を確認する。

■仕様

実際にテントをご使用になる前に部品の欠品が無いことをご確認ください。

構成部品および内容明細



■設営の前に

新しいテントに慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に、試し張りされることをお勧めします。

設営場所の選択

テントを設営される際は、周囲の環境や気象条件などを充分考慮し、安全を確認してください。テントの設営地に指定されている場所でも、強風や豪雨などの厳しい自然条件下では注意が必要です。また、稜線上や大木の付近、広い草原では落雷にも注意してください。河原や河岸付近で設営する際には、気象条件により突然増水することがありますので、設営場所には特に注意が必要です。

出入口を風下側にして設営しますが、風の影響を受けやすい大型テントのため、設営後に風が強くなりそうな気象情報があれば、速やかに撤去されることをお勧めします。

「ヘリオスドーム 12型」は大型テントのため設営には最低でも2~3人で設営されることをお勧めします。

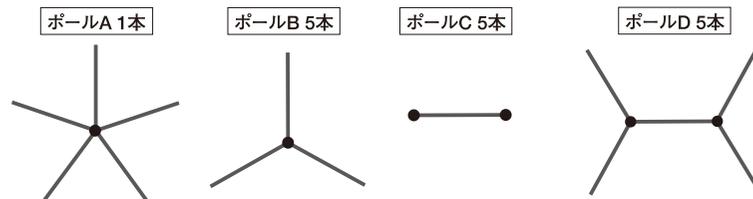
■設営手順

設営準備

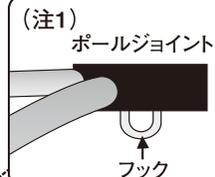
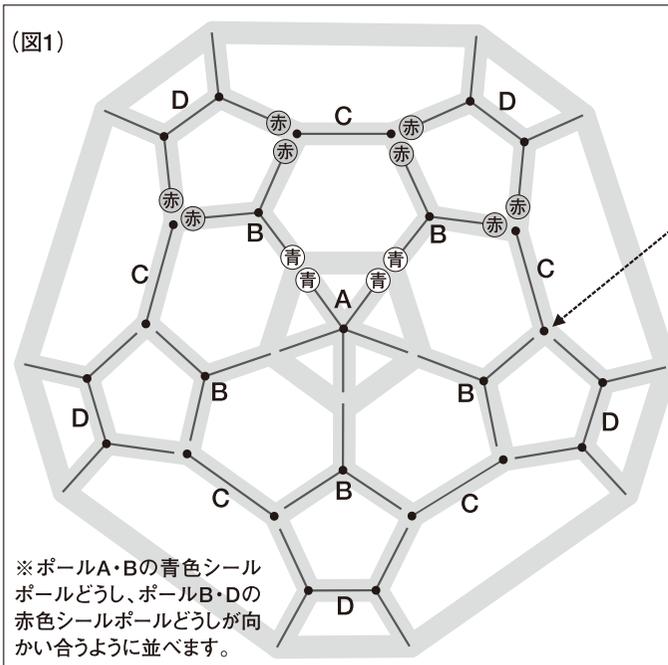


1 3つのスタッフバッグに入った構成部品をすべて取り出し、出入口が閉じていることを確認した上で、テント本体を広げます。強風時にはペグで仮留めしてください。

2 周囲に障害物や人がいないか注意して、テント本体のスリーブに沿ってポールA~Dを広げます(図1)。ポールジョイントのフックは下に向けておきます(注1)。



(図1)

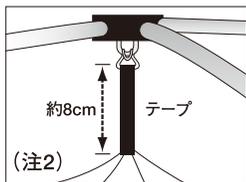


※ポールA・Bの青色シールポールどうし、ポールB・Dの赤色シールポールどうしが向かい合うように並べます。

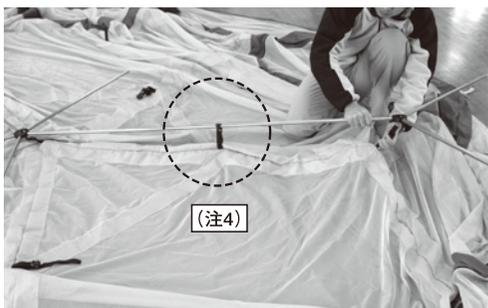
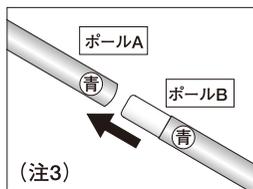
ポールA・ポールBの組み立て



3 ポールAジョイントとテント本体頂点のテープをフックします。設営中のポールにテンションがかかりすぎないように、ポールとテント本体のクリアランスを約8cm程度に保ってください(注2)。



4 ポールAとポールBの青色のシールが貼られた部分をつなぎます(注3)。



5 ポールA・Bの接続部分(注4)、およびポールBジョイントをフックします。

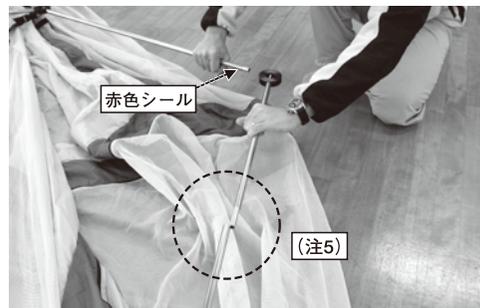


ポールBジョイントにフックしたテープには、フックが外れない程度のテンションをかけておきます。

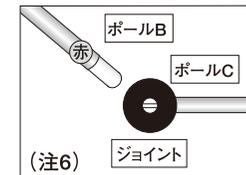


6 ポールA・Bにテンションをかけた状態。

ポールCの組み立て



7 ポールCをいったん中央で分割して(注5)、ポールBの赤色シール部分とポールCジョイントをつなぎます(注6)。



8 ポールCの中央をつなぎなおし、ポールCジョイントをフックします。



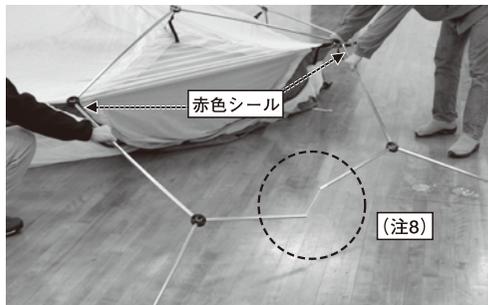
ポールCジョイントにフックしたテープには、フックが外れない程度のテンションをかけておきます。



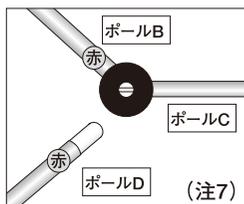
9 ポール全体にテンションがかかり、テント上部が立ち上がります。

<p>注意</p>	<p>ポールどうしの接続部分、およびポールとジョイントの接続部分は正確に取り付けて下さい。接続が不完全なまま組み立てを進めると、正確なテンションがかからず、ポールが折れる原因となりますのでご注意ください。</p>		
	<p>間違った接続</p> <p>ジョイントにポールが正確に入っていない。</p>	<p>正しい接続</p> <p>ジョイントにポールが正確に入っている。</p>	<p>間違った接続</p> <p>ポールどうしが正確につながれていない。</p>
	<p>正しい接続</p> <p>ポールどうしが正確につながれている。</p>		

ポールDの組み立て



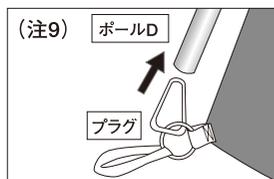
10 ポールCジョイントにポールDの赤色のシールが貼られた部分をつなぎます(注7)。このときポールDの中央は分割しておきます(注8)。



11 ポールDの中央をつなぎます。



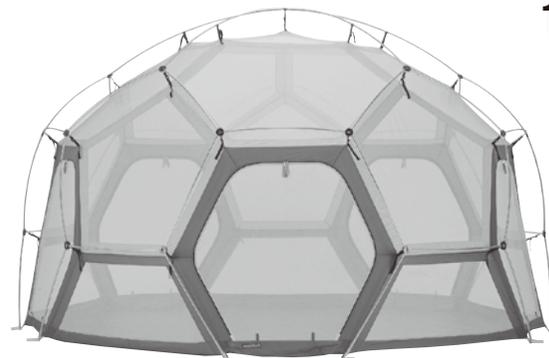
12 ポールDの末端にテント本体底部のプラグを差し込みます(注9)。プラグが差し込みにくい場合は、ジョイントにフックしたテープをゆるめ、クリアランスを大きくします。



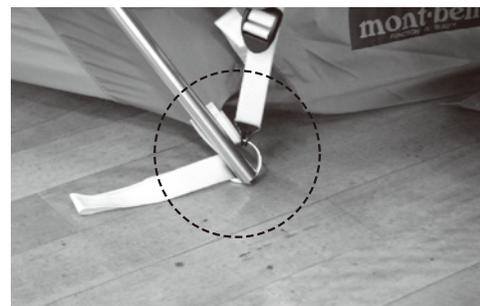
13 ポールDジョイントをフックし、テンションをかけます。

6

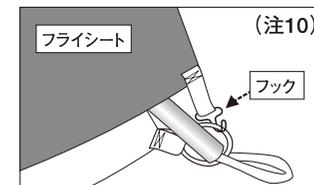
14 テント本体の組み立てが終了。全てのテープが正確にフックされているか確認してください。



フライシートの取り付け



15 テント本体の出入り口に合わせてフライシートをかぶせ、末端のフックをテント本体底部のリングにかけていきます(注10)。



テントの固定

ベグによる固定

テントの各コーナーに設けられたループにベグを通してテントを固定してください。

張り網による固定

張り網は強風が吹くことを予想して必ず取り付けてください。フライシートの5ヶ所から張り網をとります。

※出入口は合計5カ所設けています。

※本体の窓部には取り外し可能なタフタ地が付属します。



7